

マンガ・パンデミック Web展2021

基本情報

期間

2021年9月11日[土]ー

会場

オンライン展覧会
(<https://www.mangapandemic.jp>)

主催

マンガ・パンデミックWeb展2021実行委員会
(安齋科学・平和研究所/
立命館国際平和ミュージアム/
京都精華大学国際マンガ研究センター/
京都国際マンガミュージアム)

展示アドバイザー

しりあがり寿/安齋肇

担当

吉村和真/伊藤遊

ウェブサイト制作

下元善光(EIGHTY ONE Inc.)

ロゴデザイン

安齋肇/坂本志保

イラスト

しりあがり寿

実施概要 ヴァーチャル空間で「平和を展示する」ことを目的に、「パンデミック」をテーマにした作品を公募、展示した「オンライン展覧会」の第2弾。前年の応募者数である1041作品(公募期間=2020年9月11日~11月30日)を上回る形で、49ヶ国・地域(不明含む)の193組から、1176作品が集まった(公募期間=7月23日~10月31日)。●今回は、延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックの開催日に合わせ、応募時期を前年よりも前倒しにした。コロナ禍下での国際イベントの開催に対し、国内世論も二分する、重要な関心事のようにみえたからである。しかしながら、パンデミックを五輪と結びつけるような作品はほとんどなく、特に海外からの作品は、具体的な出来事や体験をテーマにするのではなく、より抽象化された表現になっているものが多かった。 [文責=イトウユウ]

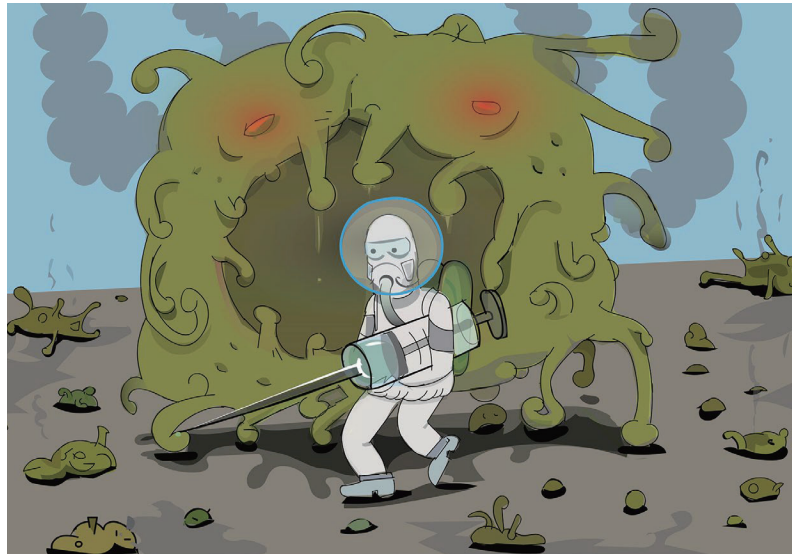
応募者の国・地域と作品数・参加組数

国・地域	作品数	参加組数	国・地域	作品数	参加組数
アメリカ合衆国	2	2	チェコ共和国	5	1
アルゼンチン共和国	6	2	中華人民共和国	82	24
イタリア共和国	7	2	中華人民共和国 (内モンゴル自治区)	7	2
イラク共和国	16	3	ドイツ連邦共和国	12	2
イラン・イスラム共和国	326	55	トルコ共和国	65	30
インドネシア共和国	36	8	日本	123	106
インド共和国	47	13	ニュージーランド	21	1
ウクライナ	43	11	ノルウェー王国	3	1
ウズベキスタン共和国	10	1	フィリピン共和国	1	1
エジプト・アラブ共和国	32	6	ブラジル連邦共和国	11	2
エストニア共和国	4	2	フランス共和国	10	2
オーストラリア	4	2	ブルガリア共和国	30	4
オランダ王国	1	1	ベルー共和国	4	1
北マケドニア共和国	22	3	ベルギー王国	2	1
キューバ共和国	22	5	ポーランド共和国	24	8
ギリシャ共和国	9	2	ポルトガル共和国	5	1
クルド自治区	3	1	マレーシア	1	1
クロアチア共和国	8	2	ミャンマー連邦共和国	12	3
コソボ共和国	4	1	メキシコ合衆国	1	1
サウジアラビア王国	8	1	モロッコ王国	2	1
シリア・アラブ共和国	2	1	モンテネグロ	8	2
スペイン	1	1	ルーマニア	19	1
セルビア共和国	25	3	ロシア	78	42
大韓民国	2	2	不明	6	1
台湾	1	1			

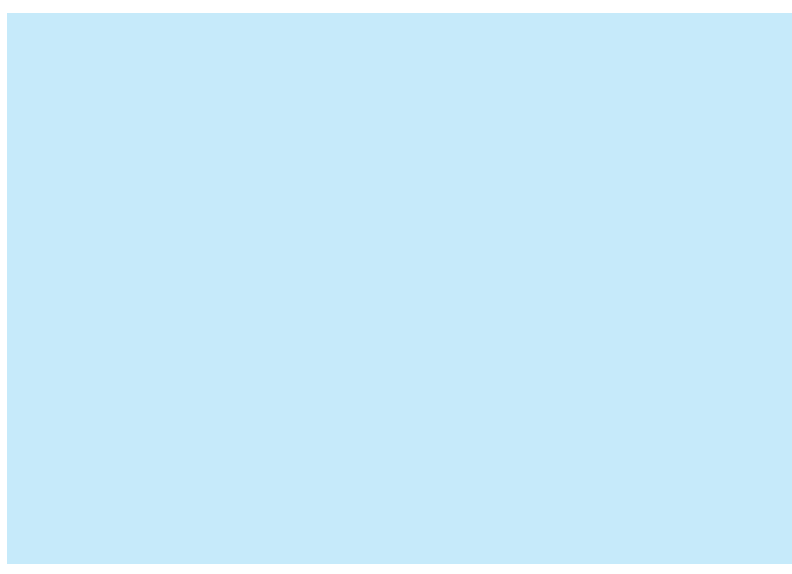
報道

- ・「コロナで変化の世界 漫画に」『京都新聞』2021年8月25日
- ・「コロナ禍と漫画」『中日新聞』2021年10月1日夕刊
- ・「マンガで切り取るコロナ」『読売新聞』2021年10月14日夕刊
- ・「コロナを題材にしたオンライン展覧会 マンガ・パンデミックWeb展2021開催」『立命館大学新聞』2021年10月18日

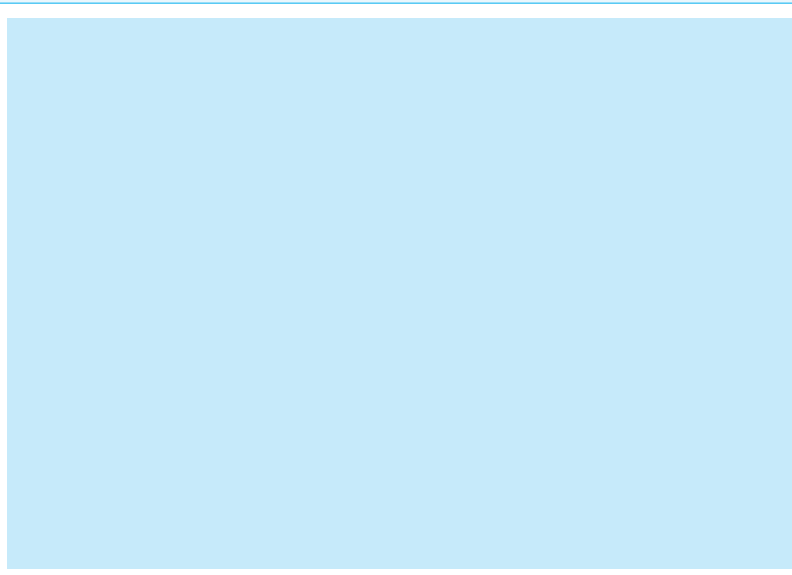
▶
Alicja Wieczorek
「Just Another War」
(ポーランド共和国)
テーマ=ワクチン



▶
Ilker Mansuroglu
「[無題]」
(トルコ共和国)
テーマ=自由部門



▶
横田吉昭
「[無題]」
(日本)
テーマ=自由部門



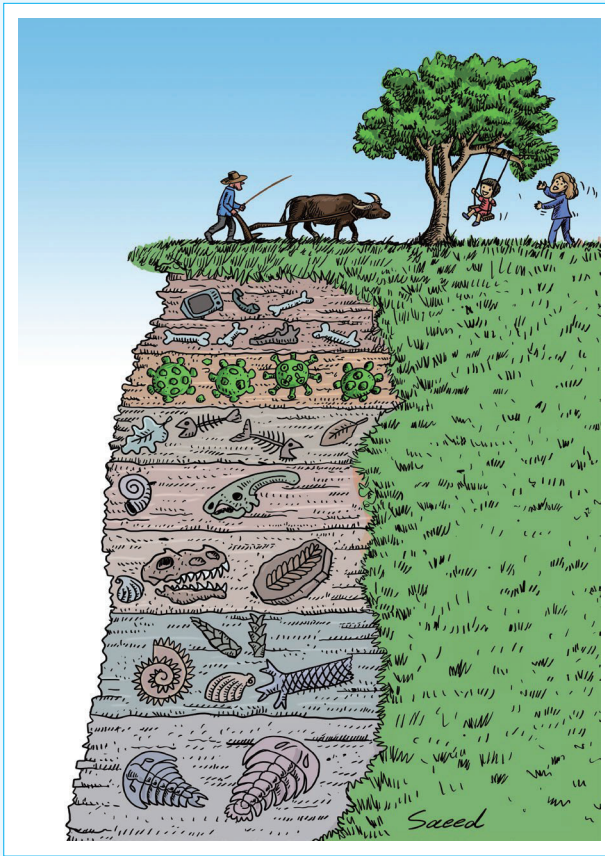


Saeed Sadeghi

「Fossil」

(イラン・イスラム共和国)

テーマ=自由部門



辰巳星空

「コロナになってから
急にモテ始めた奴」

(日本)

テーマ=マスク

コロナになってから急にモテ始めた奴



左
ウェブサイト
トップページの
スクリーンショット画像。
(2021年11月2日時点)
右
ウェブサイト「ギャラリー」
トップページの
スクリーンショット画像。
(2021年11月2日時点)

